

PRESS RELEASE

舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」 10/1（水）開幕！

岡田利規アーティスティック・ディレクター体制での初の開催。
ディレクターメッセージ&新規イベントも追加発表



「秋の隕石2025東京」爆誕ビジュアル

池袋の東京芸術劇場を中心に開催する舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」が、いよいよ2025年10月1日（水）に開幕いたします。ご多用中とは存じますが、何卒ご取材ならびにご参加のほどお願い申し上げます。

岡田利規アーティスティック・ディレクターのもと初の開催となる今回、約1ヶ月にわたって、国内・海外の多様な舞台芸術作品14演目による「上演プログラム」、レクチャーやワークショップなどの「上演じゃないプログラム」、その両方を支える「ウェルカム体制（＝来場サポートのこと）」の3つを展開します。

多様なプログラムを通じ、今、ここ、にある日本と世界の舞台芸術表現が、より身近なもの、自分と直接接続し腑に落ちるものとして捉えられるような、さまざまな現実の姿に気づき、新たな視点でこの世界を捉え直すことができるような機会を創り出します。

加えて、東京芸術劇場前広場に設置される「ウェルカムぎんが」では、当日券情報やプログラムチラシを提供するインフォメーションセンターとしての役割に加え、ワークショップや飲食を楽しめる交流の場としてもご利用いただけます。

さらに、鮮烈な印象を残すと評判の「秋の隕石」ビジュアル・アイデンティティをデザインを配したフラッグやバナー、ポスターといった装飾が施され、劇場全体が祝祭感のあふれる場となります。SNSと連動した来場者参加型のくじ引き企画も予定しております。

また、舞台芸術祭「秋の隕石」の〈隕石み〉により深くアクセスするための手引きとして、コンセプトブック「文脈たちの宴」を発行、紙と電子版で会期中に無料配布します。岡田利規は、この舞台芸術祭を「文脈たちの宴」と表現しています。

詳細および最新情報は、「[秋の隕石](#)」公式WEBサイトをご覧ください。

報道関係の方からのお問い合わせ先

■取材・広報に関するお問い合わせ

東京舞台芸術祭実行委員会事務局 舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」 広報担当 松本・藤崎

☎ 03-6812-1638 （東京芸術劇場休館日を除く11:00～17:00）

✉ press@autumnmeteorite.jp

岡田利規アーティスティック・ディレクターからのメッセージ

いよいよこれからです。みなさんが、わたしたちが入念に用意してきた、そしてこの一ヶ月あまりの会期をかけて紹介していく〈隕石〉たちを体験するのは、いよいよこれからです。「隕石」という言葉にわたしが込めた、異物、というニュアンスを備えたその実物たちである演目たち、アーティストたちと相まみえることになるのは、いよいよこれからです。この「秋の隕石」という舞台芸術祭の雰囲気、すなわち〈隕石み〉を味わってもらえるのは、いよいよこれからです。

「秋の隕石」の名のもとにわたしたちがオーガナイズするのは現在の・東京の・または舞台芸術界の、支配的文脈の外側から飛来する隕石たちとの邂逅の場です。この場にみなさんが立ち会い、それがみなさんにとって、これまで得たことのない感覚を得たり、味わったことのない美学に面食らったりする機会となれば、こんなにうれしいことはありません。

わたしたちがその中に身を置き生きているこの現実・この社会・この状況。舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」は、それと対峙するべく企まれた、芸術の形をした問いかけです。その問いかけが堰を切ってみなさんのもとへと流れ込んでいくのは、いよいよこれからです。

隕石という問いかけが、この催しに参加してくれるみなさんの中にささやかな変容を生じさせる契機となればと、心から希っています。生きることは、変容のプロセスそのものですが、そのプロセスそれ自体である場となるべく、そのような事態を寿ぐ場となるべく、「秋の隕石2025東京」はこれより観客のみなさん、参加アーティストのみなさん、この催しの企画と運営に携わるスタッフのみなさんとともに、繰り広げられます。わたしはここに舞台芸術祭「秋の隕石」、そしてその初年度である「秋の隕石2025東京」の爆誕と開幕を宣言いたします。

岡田利規 Toshiki Okada プロフィール



©Kikuko Usuyama

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞受賞。同作での2007年クンステン・フェスティバル・デザール（ブリュッセル）参加以降、国内外の90都市以上で新作を旺盛に上演し続けている。2015年日韓キャストによる『God Bless Baseball』、2018年ウティット・ヘーナムーン原作・タイキャストによる『プラターナー：憑依のポートレート』（第27回読売演劇大賞・選考委員特別賞受賞）、2023年ウィーン芸術週間委嘱作品『リビングルームのメタモルフォーシス』など、国際共同制作作品も多数。2016年以降、ドイツ語圏公立劇場のレパートリー作品の作・演出も継続的に務め、2020年『掃除機』及び2022年『ドーナ（ッ）ツ』でベルリン演劇祭に選出。2022年、『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』（第72回読売文学賞・戯曲・シナリオ賞及び第25回鶴屋南北賞受賞）および歌劇『夕鶴』の演出に対して、第29回読売演劇大賞 優秀演出家賞を受賞。

小説家としては、2007年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を刊行、第2回大江健三郎賞受賞。2022年に『ブロッコリー・レボリューション』で第35回三島由紀夫賞および第64回熊日文学賞を受賞。

追加イベント情報

爆誕式（オープニングセレモニー） **取材・撮影可**

※岡田利規アーティスティック・ディレクター囲み取材あり

日時：10月1日（水）16:00～

会場：ウェルカムぎんが（東京芸術劇場 劇場前広場）

「秋の隕石」の開幕を宣言する、一般非公開、関係者およびメディア限定のイベントです。

岡田利規「その場でなんか書く」

取材可

日時：10月26日（日）12:00～、終了時間未定

会場：東京芸術劇場 地下1階 ロワー広場

※日英翻訳あり

「秋の隕石」アーティスティック・ディレクターの岡田利規が、東京芸術劇場内の広場の一角で、その場で起こるフィクションを書きます。即興的に文章の紡がれるデバイスの画面が会場に映し出され、観客は、テキストが書かれ・書き直されていくさまにリアルタイムに立ち会うでしょう。テキストによるフィクションがその場で生成され、その場を変容させ、終わると同時に消え去る、一日限りのライブ・イベントです。

池袋まち歩きツアー＆

舞台芸術祭「秋の隕石」オープニングプログラム鑑賞

取材・ツアー撮影可

日時：10月1日（水）①14:00～ ②14:30～（120分＋オープニング鑑賞）

会場：GLOBAL RING THEATRE および池袋周辺

言語：英語

街なかアートと池袋の隠れた魅力を探訪する街歩きツアー。普段自分では気づかないような歴史のある神秘的なスポットをガイドが英語でご案内します。途中、1997年に重要文化財に指定されたフランク・ロイド・ライト設計の歴史的建造物「自由学園明日館」を訪れ、ティータイムをお楽しみいただけます。ツアーの後は、舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」オープニングプログラム『現実の別の姿／別の現実の姿』をご覧くださいませ！

『誠實浴池 せいじつよくじょう』 英語ガイドバックステージツアー（公演鑑賞付）

取材・ツアー撮影可

日時：10月4日（土）16:00

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

言語：英語

『誠實浴池 せいじつよくじょう』終演後、ガイドとともに巡る劇場ツアーと、アーティストやスタッフによる作品解説を聞くことができる特別イベントを開催します。客席や舞台裏を英語ガイドとともに巡り、アーティストやスタッフによる作品解説を聞きながら『誠實浴池 せいじつよくじょう』の作品世界をより深く体感していただくプログラムです。

劇場ツアー in 舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」

取材・ツアー撮影可

日時：10月25日（土）12:30

会場：東京芸術劇場 各所

言語：英語

舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」開催中の芸劇をめぐる劇場ツアーを実施します。劇場について学ぶだけでなく、芸術祭の雰囲気と一緒に味わうスペシャルツアーです。また、本ツアーでは施設内ホールの中の見学も予定しています。

次はどこ？みて、はなすレジデンシー

取材・撮影可

Sharing and Exchanging Session

日時：11月2日（日）11:00～14:00

会場：東京芸術劇場 地下1階 ロワー広場

言語：英語／日本語（逐次通訳を予定）

アジアを中心に、世界各地で舞台芸術の創作に携わる若手である参加者たちが、「秋の隕石」上演作品の観劇や都内近郊のアーツスペース訪問などの経験を通じて得た気づきを、自身の実践と結びつけながら語り合います。プログラム期間を振り返りながら示唆を共有し、観客とともに考え、対話する公開の場です。

※「次はどこ？みて、はなすレジデンシー」は国際交流基金の助成を受けて実施されます。

海外プレゼンター招聘

Meet the Presenters! — 協働・批評・フェスティバルをめぐる対話

日時：10月31日（金）13:30～16:30

取材・撮影可

会場：東京芸術劇場 地下2階 リハーサルルームM1

言語：英語／日本語（同時通訳を予定）

「秋の隕石」が世界各地から招聘するプロデューサー、ドラマτουργ、批評家等が一堂に会し、各国の舞台芸術の現状や課題、注目しているテーマについて、自身の実践を交えながら語り合います。多様な視点が交差する中で、国際的な舞台芸術の動向を知る貴重な機会となります。

※「海外プレゼンター招聘」は国際交流基金の助成を受けて実施されます。

ウェルカムぎんが

取材・撮影可

日時：10月1日（水）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 劇場前広場

東京芸術劇場内にある飲食店が「ウェルカムぎんが」に出店します。

- ・Cafe des Arts 「秋の隕石カクテル」
- ・吾ん田 「秋の味覚の隕石おにぎり」
- ・BERG AUBE 「秋の隕石ビール」

※ウェルカムぎんがのオープン日時、および飲食店の出店日は公式WEBサイトをご確認ください。

その他の「秋の隕石2025東京」プログラム

参加アーティストへのインタビュー等のご取材およびご観劇・ご参加*を希望される方は、広報担当までご連絡ください。プログラム詳細はタイトルのリンク先をご確認ください。

「秋の隕石2025東京」スケジュールは[こちら](#)

・ オープニングプログラム『現実の別の姿／別の現実の姿』

取材・撮影可

日程：10月1日（水）17:30～

会場：GLOBAL RING THEATRE 〈池袋西口公園野外劇場〉

・ 岡田利規 ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』

日程：10月1日（水）～10月5日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

*全公演、リラックス・パフォーマンス

・ 芸劇オータムセレクション 佐々木蔵之介ひとり芝居『ヨナ-Jonah』

日程：10月1日（水）プレビュー／10月2日（木）～10月13日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

・ Shakespeare's Wild Sisters Group × 庭劇団ペニノ

『誠實浴池 せいじつよくじょう』

日程：10月3日（金）～10月5日（日）

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

・ フェイ・ドリスコル『Weathering』

日程：10月10日（金）～10月12日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

・ 芸劇オータムセレクション『Mary Said What She Said』

日程：10月10日（金）～10月12日（日）

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

・ ハンダ・ゴテ・リサーチ&ディベロップメント『第三の手』

日程：10月17日（金）～10月19日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

・ フォースド・エンタテインメント『Signal to Noise』

日程：10月17日（金）～10月19日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

・ ユーバランス

日程：10月24日（金）、10月25日（土）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト・アトリウム・ロワー広場

*途中入退場自由

*出演アーティストは公式WEBサイトにてご覧ください。

・ うたうははごころ 『劇場版☆歌え！踊れ！育て！ははごころの庭～子供服は輪廻です～』

日程：10月25日（土）～10月26日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

*全公演、リラックス・パフォーマンス、舞台手話通訳あり

・ シャヴィエ・ボベス 『やがて忘れてしまうもの』

日程：10月28日（火）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト ほか

・ 「関田育子」『under take』

日程：10月31日（金）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

・ 芸劇オータムセレクション

ダミアン・ジャレ × 名和晃平 『Planet[wanderer]』

日程：11月1日（土）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

・ 花形 稔 『エルゴノミクス胚・プロトセル』

日程：11月1日（土）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 アトリエウエスト

・ シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] × 舞台芸術祭「秋の隕石」
Future Ideations Camp Vol.7 | Super Sober Shamanism：同期・共在・模倣
を演劇とテクノロジーの両岸から考える

【基調講演01～03 | テオ・トリアンタフィリディス／エレナ・ノックス／ロロ
ロル】

日時：2025年10月1日（水）、10月2日（木）、10月4日（土）19:30～21:00

会場：東京芸術劇場 アトリエウエスト

【成果発表＆成果展示】

成果発表：10月12日（日）14:00～17:00

成果展示：10月15日（水）～10月19日（日）各日13:00～19:00

※最終日は17:00まで

会場：東京芸術劇場 アトリエウエスト

成果発表の予約受付を開始しました。詳細は[こちら](#)。（成果展示は予約不要）

・山口遥子 レクチャー『現代オブジェクトシアターへのクイックガイド』

日時：10月18日（土）13:00～

会場：東京芸術劇場 シンフォニースペース

・アリエル・ドロン「オブジェクトシアター ワークショップ／プロフェッショナル編」

日程：10月28日（火）～11月1日（土）

成果発表 11月1日（土）18:00～20:00

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

・アリエル・ドロン「オブジェクトシアター ワークショップ／実験体験編」

日程：11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

・託児型ワークショップ「こどもあそびシアター」

日程：10月1日（水）～11月3日（月）

会場：東京芸術劇場 アトリエイースト

*ご観劇・ご参加に際して、有料プログラムについては、別途お支払いをお願いすることがございます。



舞台芸術祭「秋の隕石」とは

豊島区池袋の東京芸術劇場を中心に開催される舞台芸術祭「秋の隕石」。演劇作家・演出家・小説家・チェルフィッチュ主宰として、国内・海外で活躍する岡田利規が、アーティスティック・ディレクターを務めます。「新たな芸術の創造」「海外発信」「人材育成」を主要なミッションとし、国内外の多様な舞台芸術作品の上演の他、世界で活躍できる舞台芸術人材育成の取組み等を実施します。岡田利規は、その独特なテキストと身体の関係性による独自の方法論を確立し、現代社会への鋭い眼差しと併せて国内外で高く評価されています。同芸術祭も、先進性や独自性、創造性そして国際性を備えたものへと発展し、より広く深く世界とつながってまいります。

開催概要

名称：舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」

英語名称：Performing Arts Festival: Autumn Meteorite 2025 Tokyo

会期：2025年10月1日（水）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE〈池袋西口公園野外劇場〉

主催：東京舞台芸術祭実行委員会〔東京都、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）〕

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流））

独立行政法人日本芸術文化振興会

協賛：アサヒグループジャパン株式会社

メディアパートナー：Tokyo Art Beat

協力：豊島区、西武鉄道株式会社、東武鉄道株式会社

事業数：上演プログラム14演目、上演じゃないプログラム8事業、ウェルカム体制（＝来場サポートのこと）3事業

※内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



アサヒグループジャパン株式会社

